

豊かな人生 実現させよう 男女共同参画社会

（令和2年度標語募集 中学生の部最優秀作品 栗田 咲羽さんの作品）

男女が互いを尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」を実現するために、市ではさまざまな啓発事業などを行っています。令和2年度に行った主な取り組みについて、ご紹介します。



受賞者の皆さん

■男女共同参画標語の受賞作品決定

親しみやすいイメージがもてる作品を募集したところ、515点の応募があり、審査の結果、令和2年度の最優秀・優秀作品を決定しました。

中学生の部で最優秀賞に選ばれた栗田咲羽さんは「賞を取ることが出来てとてもうれしいです。男女共同参画社会の政策がもっと広まればいいなと思います」と笑顔で話してくれました。また、高校生・一般の部で最優秀賞に選ばれた関あずみさんは「受賞出来ると思っていなかったのが驚いています。自分らしく生きている人の生き方を否定する事だけは絶対にしないでほしいです」と想いを込めて話をしてくれました。

※学校名および学年は受賞当時のものを掲載しています。

■中学生の部（敬称略）

最優秀賞	「豊かな人生 実現させよう 男女共同参画社会」	栗田 咲羽	（伊奈中学校1年）
	「性別で 閉ざさないで 未来への扉」	佐藤 優羽	（伊奈東中学校1年）
優秀賞	「男性女性 共に輝き 認め合う」	横瀬 日葵	（谷和原中学校1年）
	「男女平等な社会を 私たちから広めよう」	久保 汐璃	（小絹中学校1年）

■高校生・一般の部（敬称略）

最優秀賞	「男は青 女は赤 うんん 自分は自分色」	関 あずみ	（伊奈高等学校1年）
優秀賞	「“当たり前” それが差別の隠れ蓑」	郷 聡汰	（伊奈高等学校3年）



■啓発キャンペーン

「男女共同参画社会」実現のため、市内スーパーなど、市内各所にて啓発活動を行いました（写真左）。

また、図書館では男女共同参画に関する特別ブースの設置も行いました（写真右）。



■中学生出前講座を実施

思考の柔軟な段階にある中学生を対象に、「男女共同参画社会」のあり方や取り組みを考える講座を実施しました。生徒からは「男らしくない、女らしくないなどマイナスに考えるのではなく、自分らしく生きることが大切だということが分かりました」「クラスの男子に「男なんだから…」とよく言っていました。今後は言動や行動に注意しようと思います」などの感想が寄せられました。